

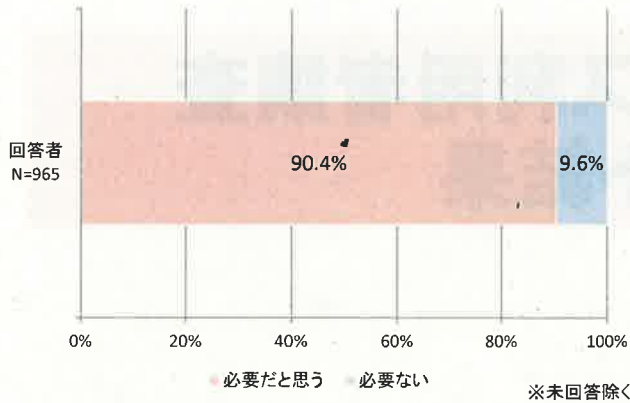
一般市民調査 アンケート結果

11. 問33 今後の取組みの必要性

路線の維持（採算の確保）が難しいため、民間企業では運行していない地域に対し、つくば市が主体となってつくバス・つくタクを運行していますが、このような取組は、今後も必要だと思いますか。

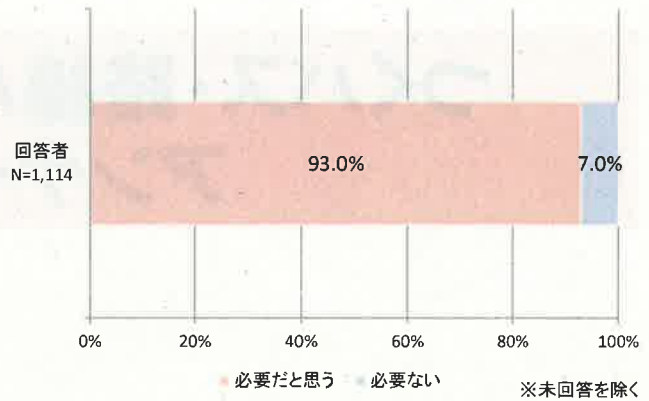
- つくば市主体の公共交通の運行を今後も取り組むことについて、「必要だと思う」と回答した市民は、2.6%増加した。

H27



	人数	割合
必要だと思う	872	90.4%
必要ない	93	9.6%
計	965	100.0%
未回答	62	
総計	1,027	

H28



	人数	割合
必要だと思う	1,036	93.0%
必要ない	78	7.0%
計	1,114	100.0%
未回答	55	
総計	1,169	

16

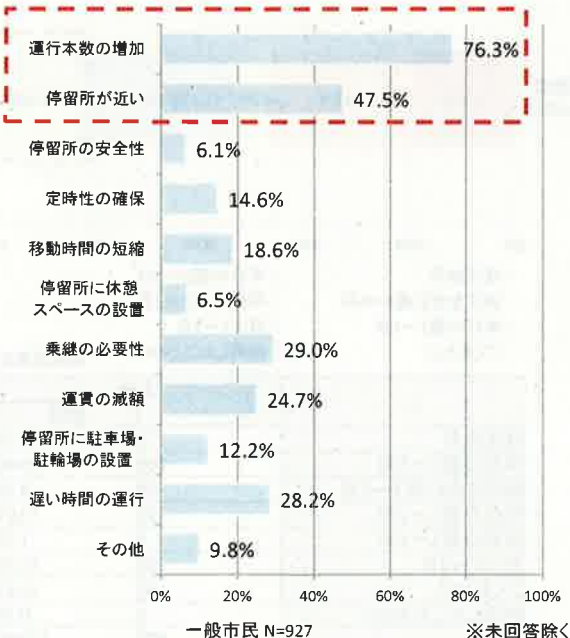
一般市民調査 アンケート結果

13. 問35 今まで以上に公共交通を利用するための条件（複数回答可）

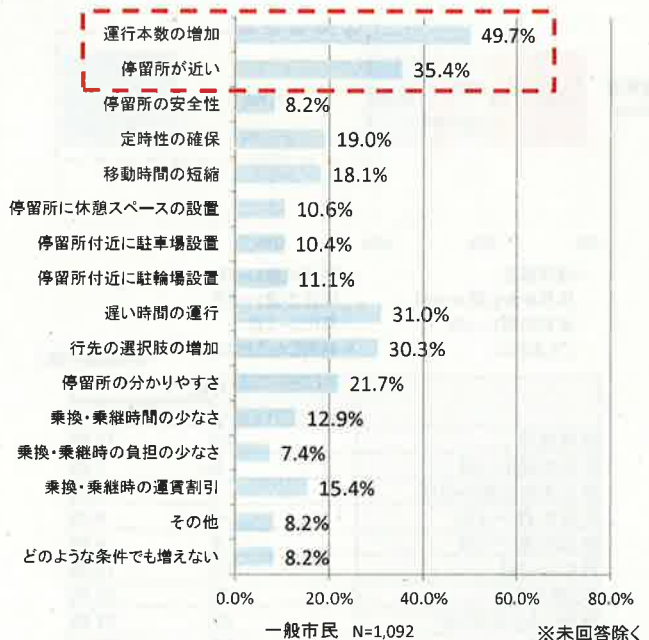
あなたがこれまでと同様、もしくはこれまで以上に市内の公共交通（路線バス、つくバス、つくタク）を利用するためには、何が必要ですか。（現在、公共交通を利用していない方は、今後利用するために何が必要ですか。）次の中から当てはまるものを全てを選んでください。

- 公共交通を利用するための条件として、**運行本数の増加と停留所の近さの割合が大きく減少**している

H27



H28



※H27とH28で選択肢が異なることに注意

17

つくバス・路線バス利用者調査 アンケート結果

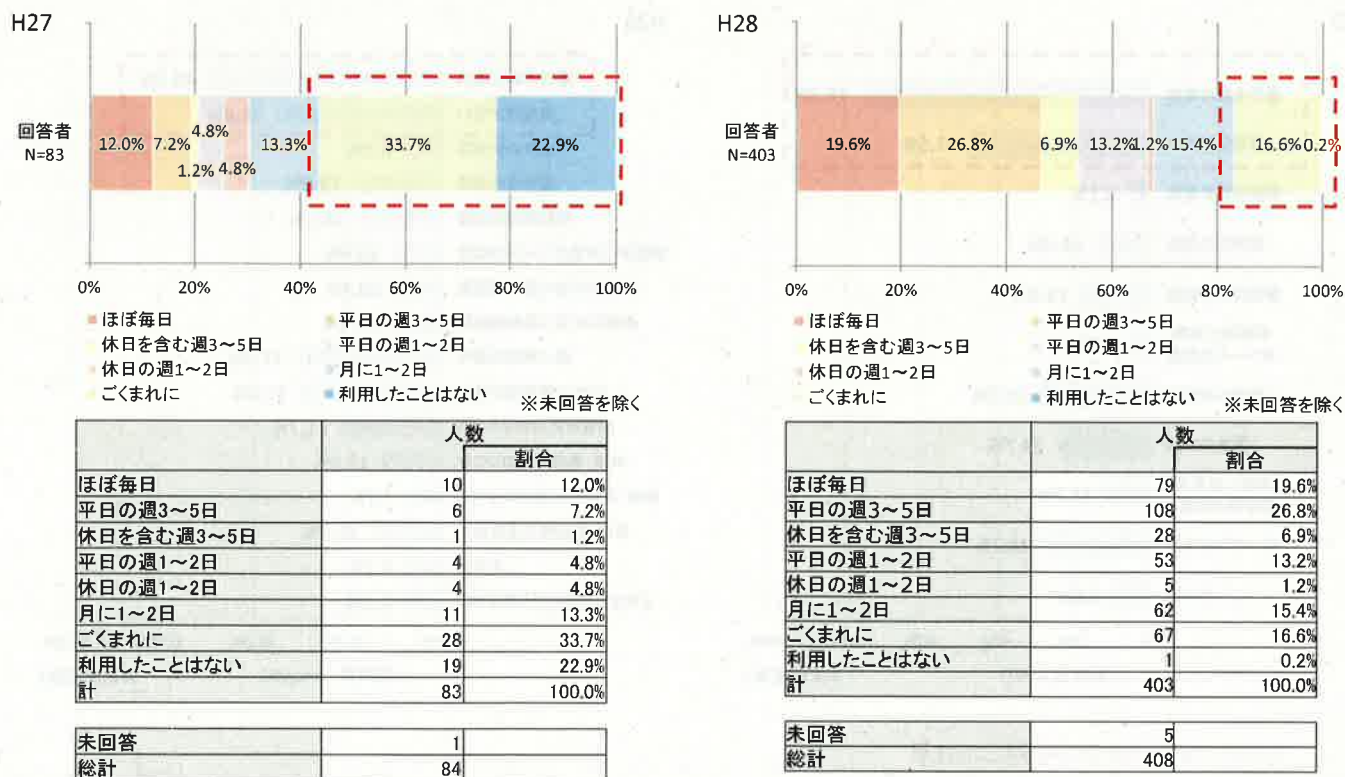
18

つくバス・路線バス利用者調査 アンケート結果

1. 問9① つくバスの利用頻度

つくバスの利用頻度をお答えください。

- つくバスの利用頻度は、ごくまれに利用する割合と利用したことのない割合が減少し、**利用頻度が高くなっている。**



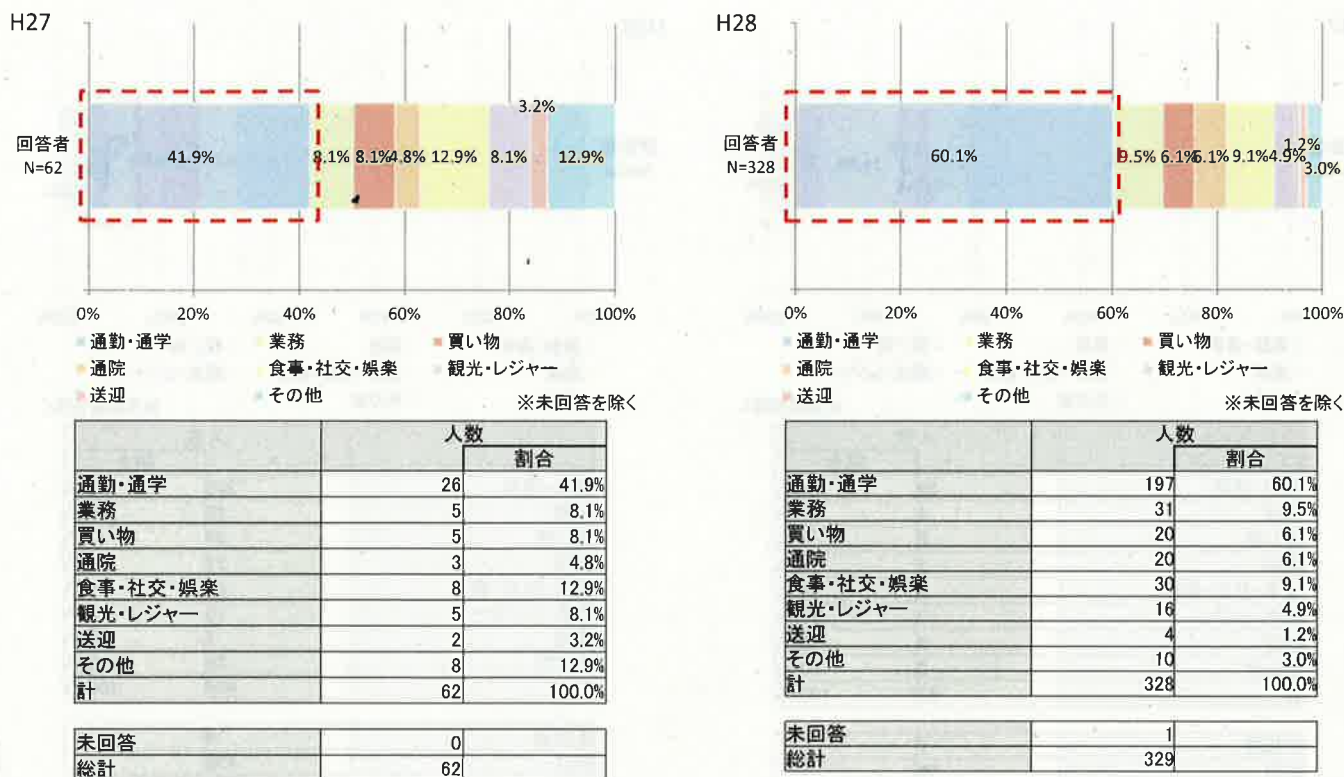
19

つくバス・路線バス利用者調査 アンケート結果

2. 問10② つくバスの利用目的

利用の主な目的地（具体的な施設名を1箇所）とその目的をお答えください。

- ・ 利用目的は、**通勤・通学**の割合が増加している。



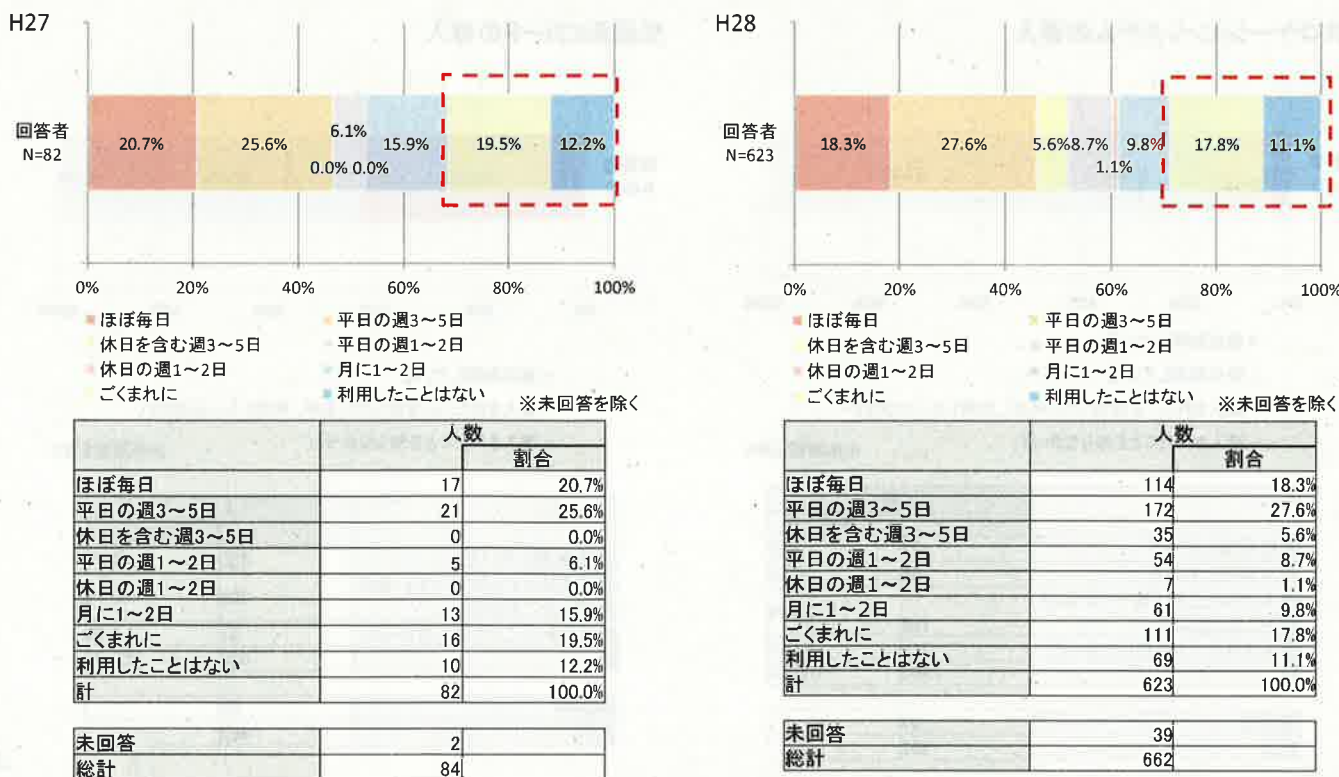
20

つくバス・路線バス利用者調査 アンケート結果

3. 問12 路線バスの利用頻度

路線バスの利用頻度をお答えください。

- ・ 路線バスの利用頻度は、ごくまれに利用する割合と利用したことのない割合が減少し、**利用頻度が高くなっている**。

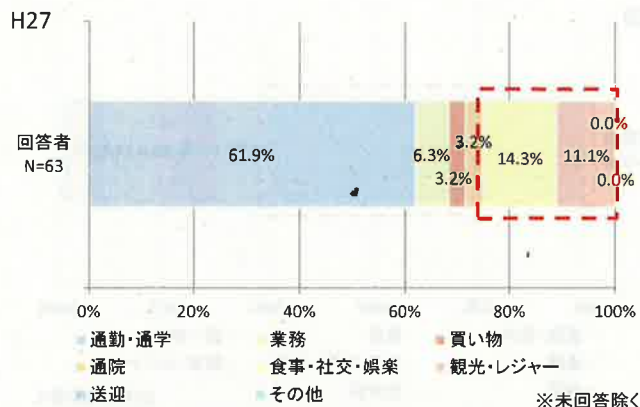


21

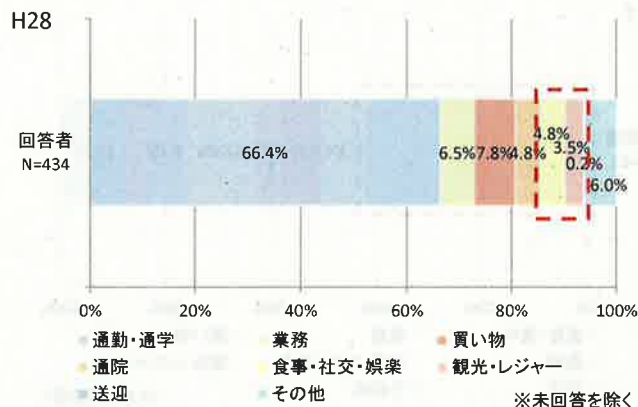
4. 問13② 路線バスの利用目的

利用の主な目的地（具体的な施設名を1箇所）とその目的をお答えください。

- 利用目的は、通勤・通学、買い物の割合が増加し、食事・社交・娯楽、観光・レジャーの割合が減少している。



	人数	割合
通勤・通学	39	61.9%
業務	4	6.3%
買い物	2	3.2%
通院	2	3.2%
食事・社交・娯楽	9	14.3%
観光・レジャー	7	11.1%
送迎	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	63	100.0%
未回答	7	
総計	70	



	人数	割合
通勤・通学	288	66.4%
業務	28	6.5%
買い物	34	7.8%
通院	21	4.8%
食事・社交・娯楽	21	4.8%
観光・レジャー	15	3.5%
送迎	1	0.2%
その他	26	6.0%
計	434	100.0%
未回答	4	
総計	438	

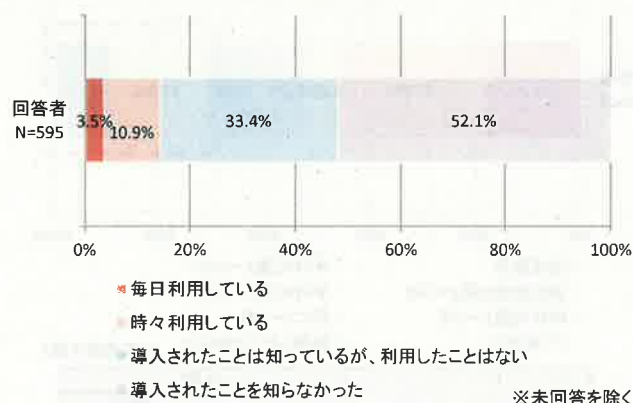
22

5. 問15 バスロケーションシステム、交通系ICカードの導入(H28新規追加項目)

バスロケーションシステムや交通系ICカードの利用状況をお答えください。

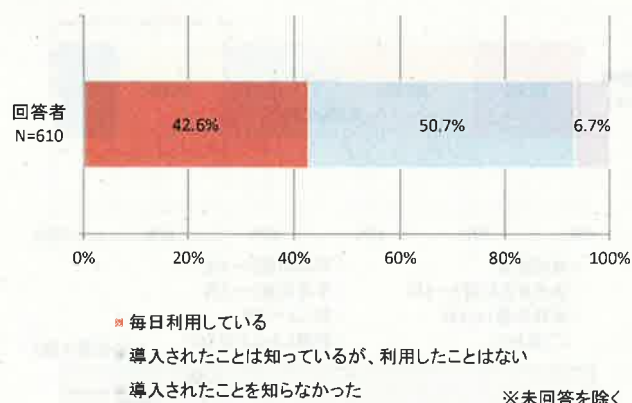
- バスロケーションシステムは、半分以上の回答者が導入されたことを知らない。
- 交通系ICカードは、4割の回答者が毎日利用し、5割の回答者が導入されたことを知っている。

バスロケーションシステムの導入



	人数	割合
毎日利用している	21	3.5%
時々利用している	65	10.9%
導入されたことは知っているが、利用したことはない	199	33.4%
導入されたことを知らなかった	310	52.1%
計	595	100.0%
未回答	67	
総計	662	

交通系ICカードの導入



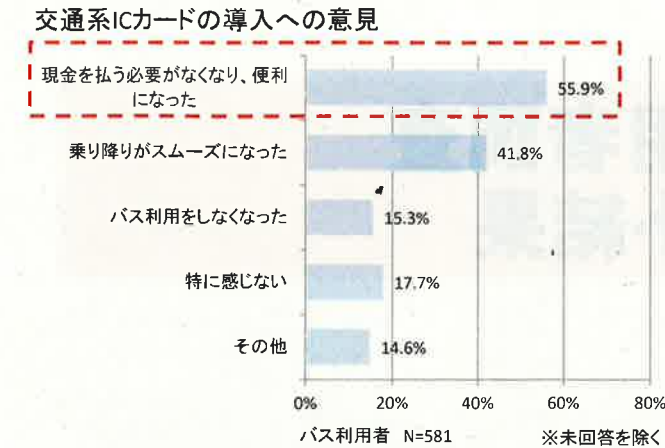
	人数	割合
毎日利用している	260	42.6%
時々利用している	309	50.7%
導入されたことは知っているが、利用したことはない	41	6.7%
導入されたことを知らなかった	41	6.7%
計	610	100.0%
未回答	52	
総計	662	

23

6. 問16 交通系ICカードの導入への意見(複数回答可) (H28新規追加項目)

交通系ICカードが導入されて、感じていることをお答えください。

・ 交通系ICカードの導入への意見は、半分以上の回答者が現金を払う必要がなくなり、便利になったと回答している。

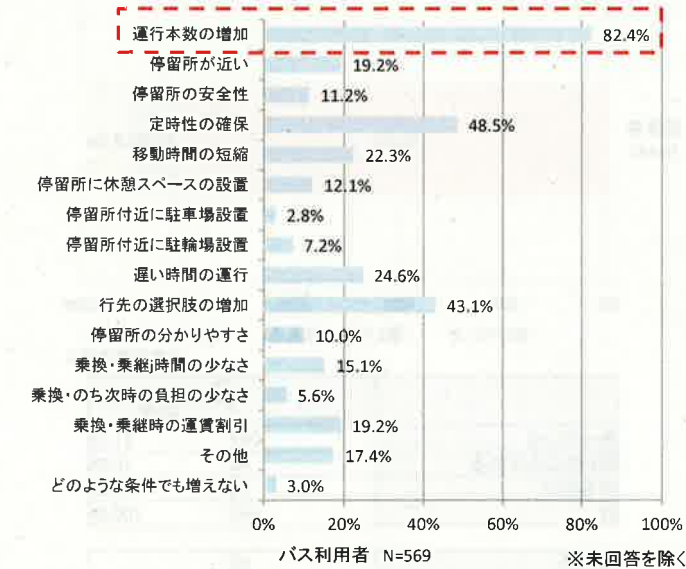


	人数	
	人数	割合
現金を払う必要がなくなり、便利になった	325	55.9%
乗り降りがスムーズになった	243	41.8%
バス利用をしなくなった	89	15.3%
特に感じない	103	17.7%
その他	85	14.6%
回答者数	581	145.4%
未回答者	81	
回答者計	662	

7. 問17 今まで以上に公共交通を利用するための条件(複数回答可) (H28新規追加項目)

これまでと同様、もしくはこれまで以上に市内の公共交通(路線バス、つくバス、つくタク)を利用するためには、何が必要ですか。

・ 今まで以上に公共交通を利用するための条件として、8割の回答者が運行本数の増加を望んでいる。



	人数	
	人数	割合
運行本数の増加	469	82.4%
停留所が近い	109	19.2%
停留所の安全性	64	11.2%
定時性の確保	276	48.5%
移動時間の短縮	127	22.3%
停留所に休憩スペースの設置	69	12.1%
停留所付近に駐車場設置	16	2.8%
停留所付近に駐輪場設置	41	7.2%
遅い時間の運行	140	24.6%
行先の選択肢の増加	245	43.1%
停留所の分かりやすさ	57	10.0%
乗換・乗継時間の少なさ	86	15.1%
乗換・のち次時の負担の少なさ	32	5.6%
乗換・乗継時の運賃割引	109	19.2%
その他	99	17.4%
どのような条件でも増えない	17	3.0%
回答者数	569	343.8%
未回答者	53	
回答者計	622	

つくたく利用者調査 アンケート結果

26

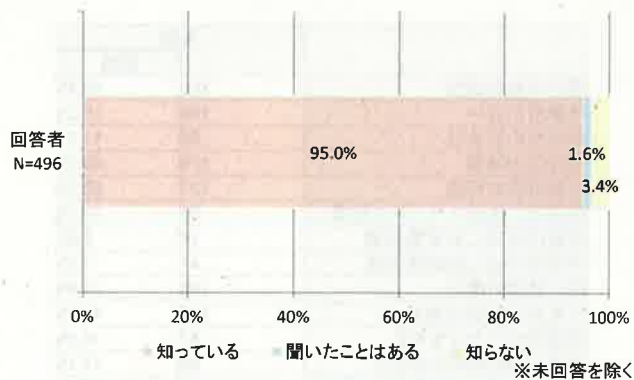
つくバス・路線バス利用者調査 アンケート結果

1. 問11① つくたくの利用方法の認知

「つくたく」の利用方法は知っていますか。

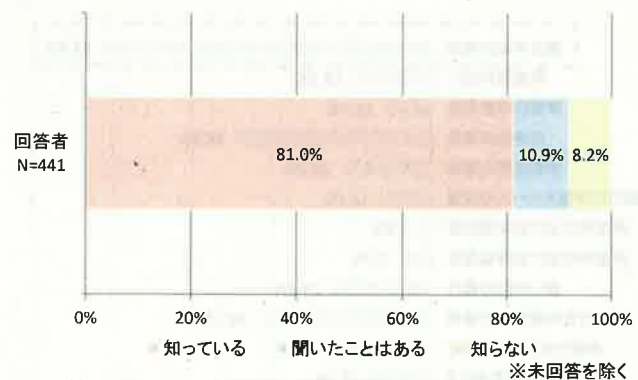
- ・ つくたくの利用方法を知っている割合が減少し、知らない割合が増加した。

H27



	人数	割合
知っている	471	95.0%
聞いたことはある	8	1.6%
知らない	17	3.4%
計	496	100.0%
未回答	55	
総計	551	

H28



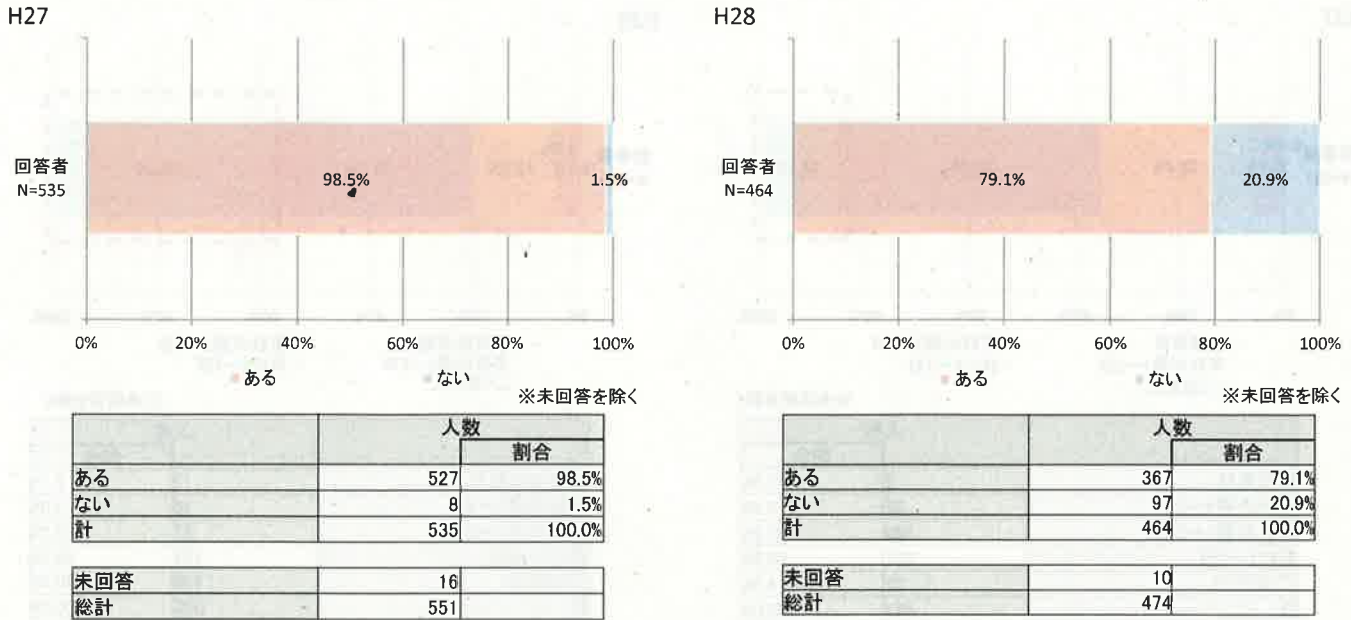
	人数	割合
知っている	357	81.0%
聞いたことはある	48	10.9%
知らない	36	8.2%
計	441	100.0%
未回答	33	
総計	474	

27

3. 問12 つくタク利用の有無

「つくタク」を利用したことはありますか。

- つくタクを利用したことのある人の割合が減少し、利用したことのない人の割合が増加した。

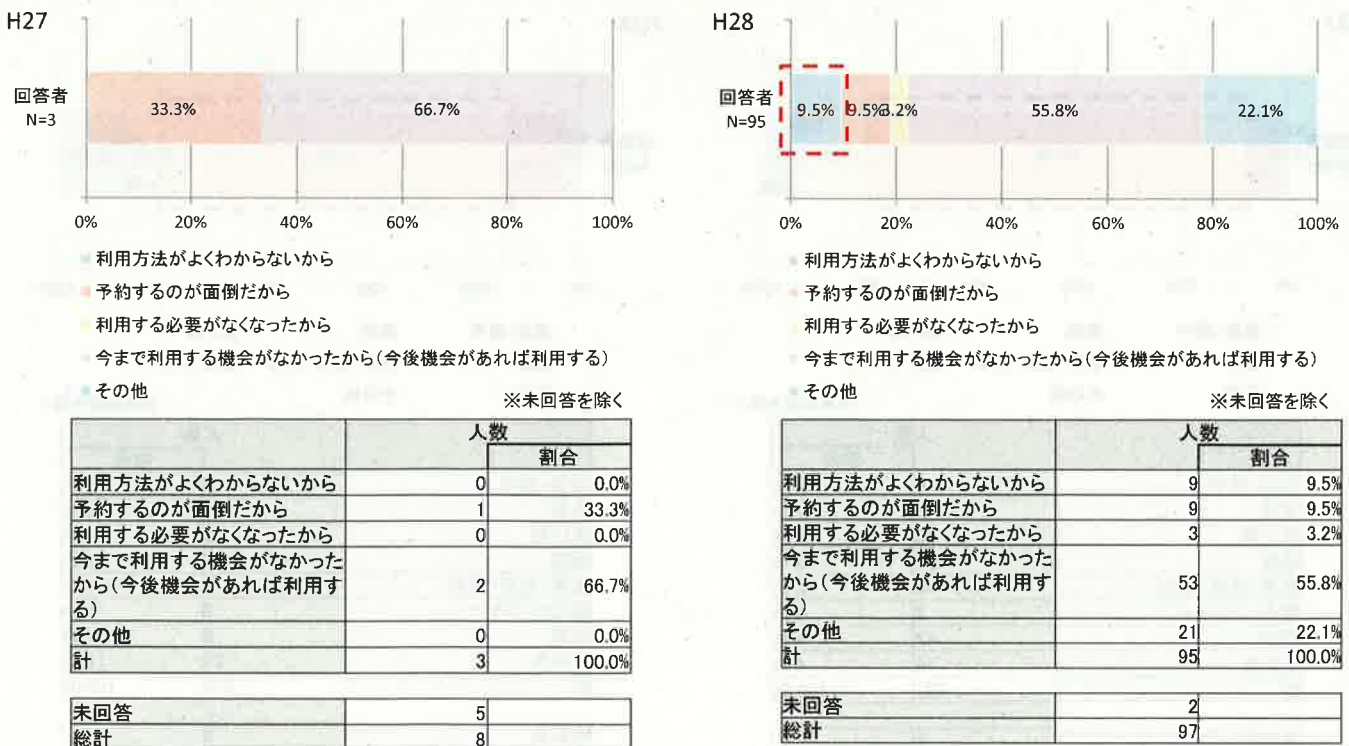


28

4. 問13 つくタクを利用しない理由

つくタクを利用しない理由は何ですか。

- つくタクを利用しない理由は、今まで利用する機会がなかったから、と回答した割合が最も多い。
- H28は、**利用方法がよくわからないから**、と回答した割合が約1割存在する。



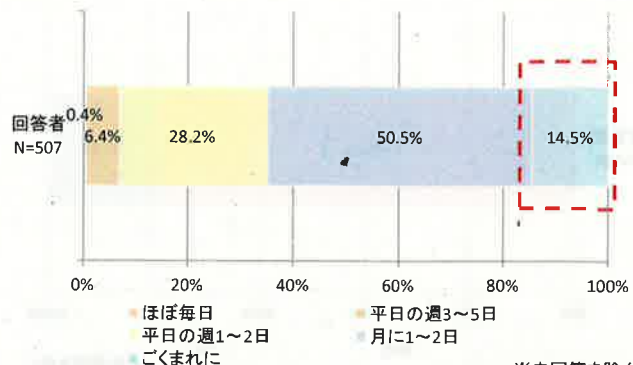
29

5. 問14 つくタク利用頻度

普段つくタクを利用する頻度はどの程度ですか。

- ・ ごくまれにしか利用しない人の割合が増加している。

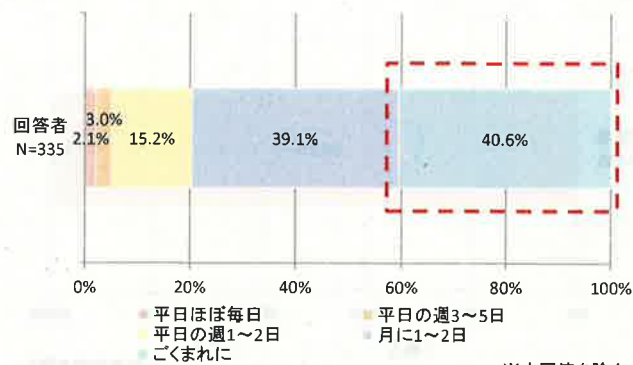
H27



	人数	割合
ほぼ毎日	2	0.4%
平日の週3~5日	32	6.4%
平日の週1~2日	140	28.2%
月に1~2日	251	50.5%
ごくまれに	72	14.5%
計	497	100.0%
未回答	30	
総計	527	

※H27の休日利用は未回答とした

H28



	人数	割合
平日ほぼ毎日	7	2.1%
平日の週3~5日	10	3.0%
平日の週1~2日	51	15.2%
月に1~2日	131	39.1%
ごくまれに	136	40.6%
計	335	100.0%
未回答	32	
総計	367	

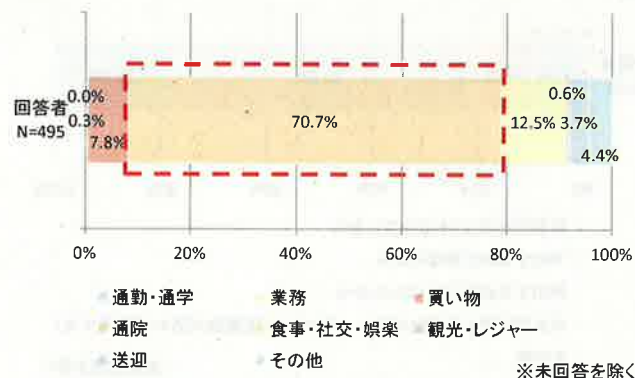
30

6. 問16② つくタク利用目的

利用する目的は何ですか。

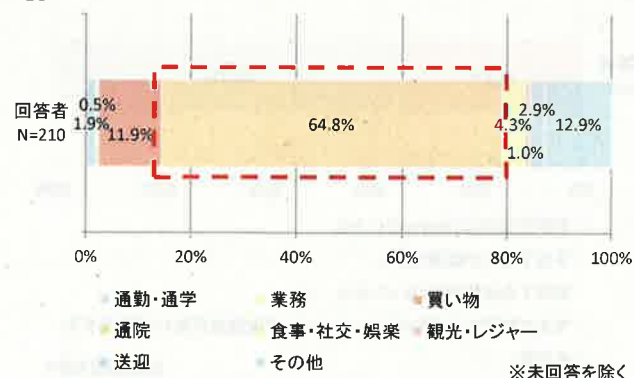
- ・ 利用目的は、通院の割合が減少し、買い物の割合が増加している。

H27



	人数	割合
通勤・通学	0	0.0%
業務	1	0.3%
買い物	25	7.8%
通院	227	70.7%
食事・社交・娯楽	40	12.5%
観光・レジャー	2	0.6%
送迎	12	3.7%
その他	14	4.4%
計	321	100.0%
未回答	6	
総計	327	

H28



	人数	割合
通勤・通学	4	1.9%
業務	1	0.5%
買い物	25	11.9%
通院	136	64.8%
食事・社交・娯楽	9	4.3%
観光・レジャー	2	1.0%
送迎	6	2.9%
その他	27	12.9%
計	210	100.0%
未回答	9	
総計	219	

31

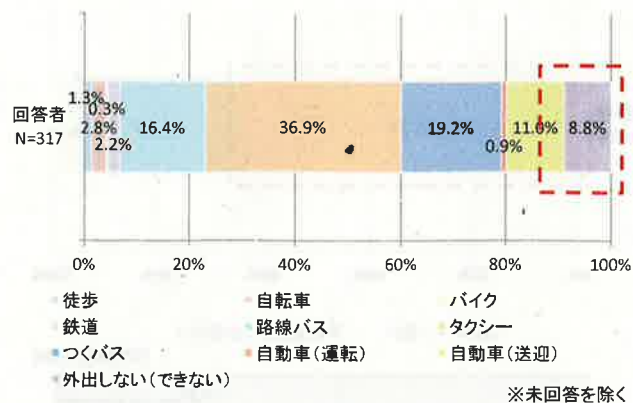
つくバス・路線バス利用者調査 アンケート結果

7. 問18 つくタクが無い場合の移動手段

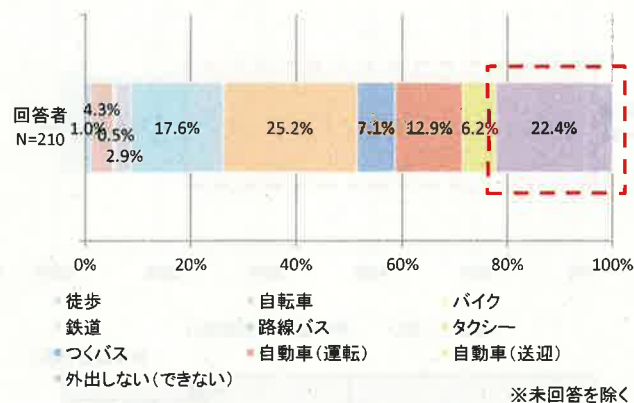
もしつくタクがなかった場合、どのような手段で移動しますか。

- つくタクが無い場合の移動手段は、タクシー・つくバスの割合が減少し、外出しない割合が増加している。

H27



H28



32

つくバス・路線バス利用者調査 アンケート結果

7. 問18 つくタクが無い場合の移動手段

もしつくタクがなかった場合、どのような手段で移動しますか。

H27

	人数	
	人数	割合
徒歩	4	1.3%
自転車	9	2.8%
バイク	1	0.3%
鉄道	7	2.2%
路線バス	52	16.4%
タクシー	117	36.9%
つくバス	61	19.2%
自動車(運転)	3	0.9%
自動車(送迎)	35	11.0%
外出しない(できない)	28	8.8%
計	317	100.0%
未回答	10	
総計	327	

H28

	人数	
	人数	割合
徒歩	2	1.0%
自転車	9	4.3%
バイク	1	0.5%
鉄道	6	2.9%
路線バス	37	17.6%
タクシー	53	25.2%
つくバス	15	7.1%
自動車(運転)	27	12.9%
自動車(送迎)	13	6.2%
外出しない(できない)	47	22.4%
計	210	100.0%
未回答	9	
総計	219	

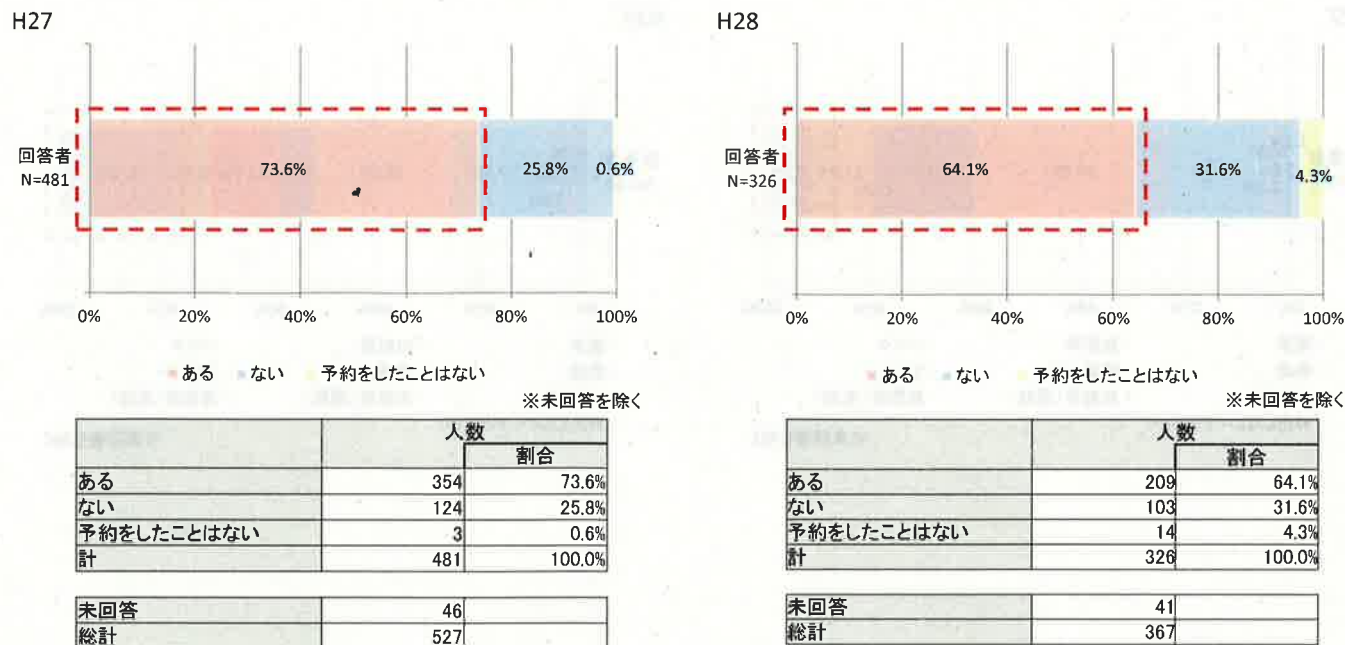
33

つくバス・路線バス利用者調査 アンケート結果

8. 問19 予約お断りの有無

予約をする際に、予約が取れなかったことはありますか。

- ・ 予約で断られたことのある人の割合は減少している。



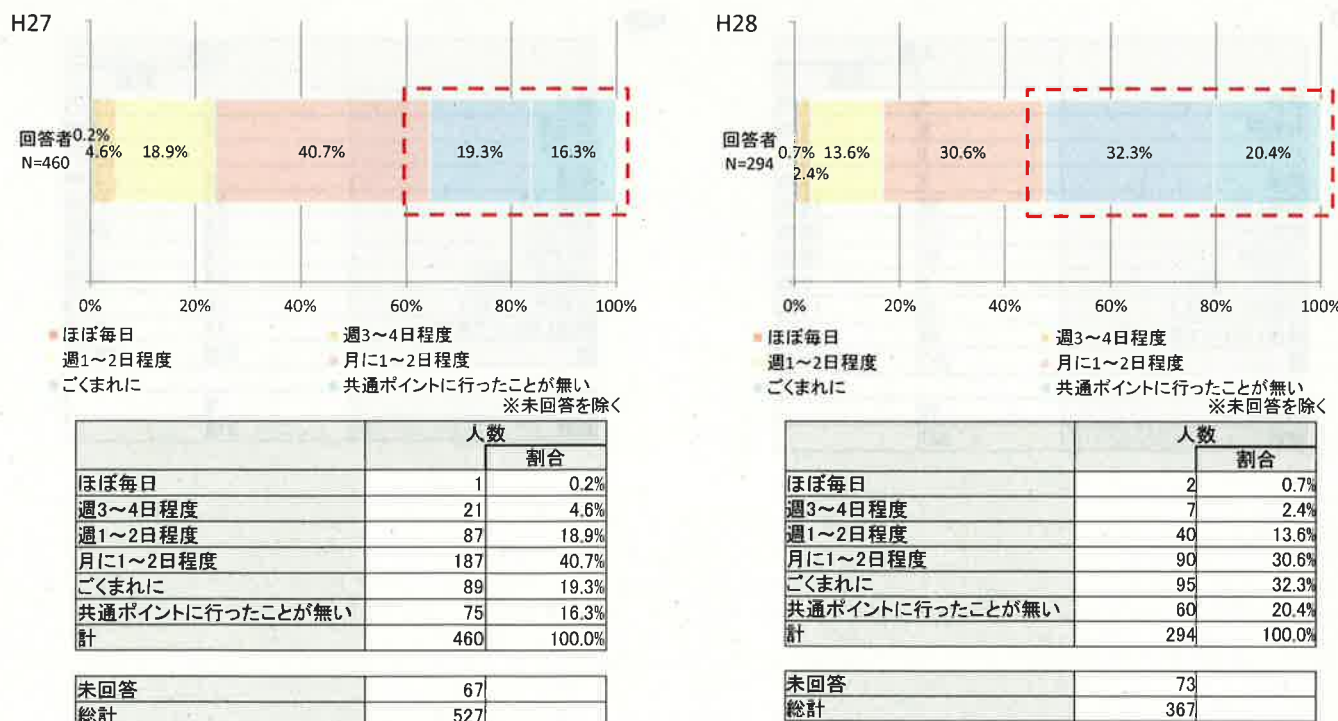
34

つくバス・路線バス利用者調査 アンケート結果

9. 問20 共通ポイントへの外出頻度

つくタクを利用して共通ポイントへ出かける頻度はどの程度ですか。

- ・ 共通ポイントへの外出頻度は、ごくまれに、や行ったことが無い、が増加している。

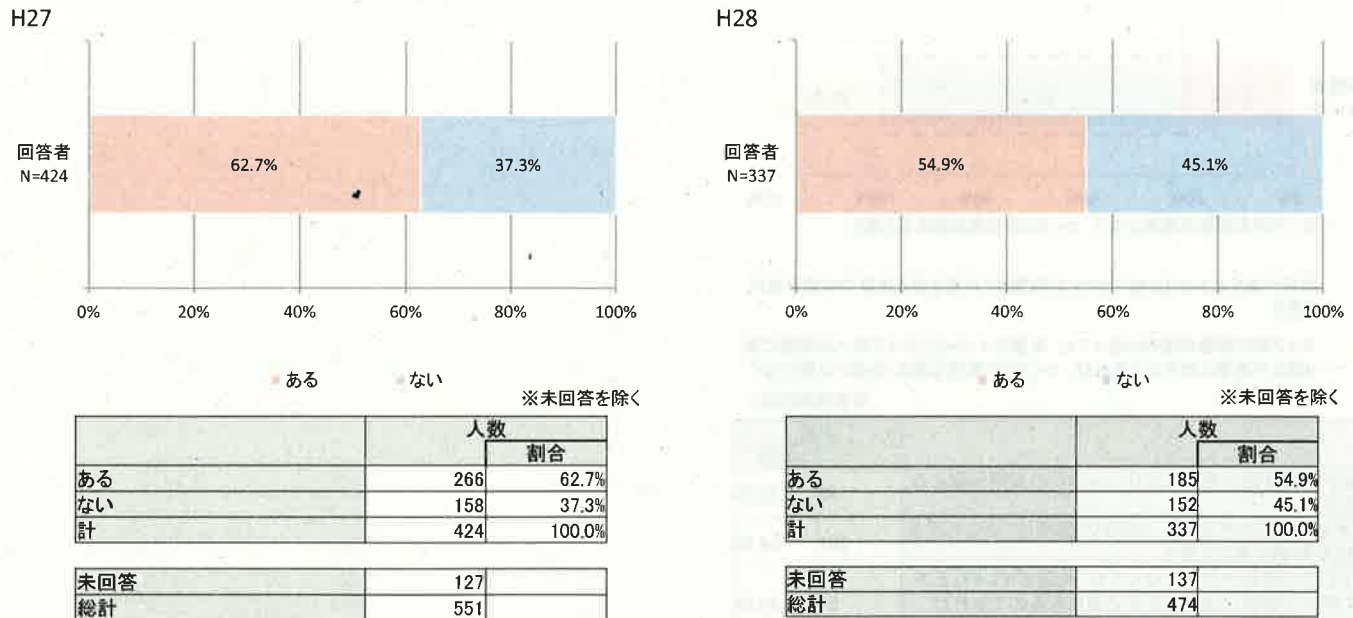


35

10. 問25① つくタク運行エリア外への移動意向の有無

つくタクの現在の運行エリア（共通ポイント）以外でつくタクで行きたいと思う場所がありますか。

- つくタク運行エリア外へ移動する意向のある人の割合が減少している。

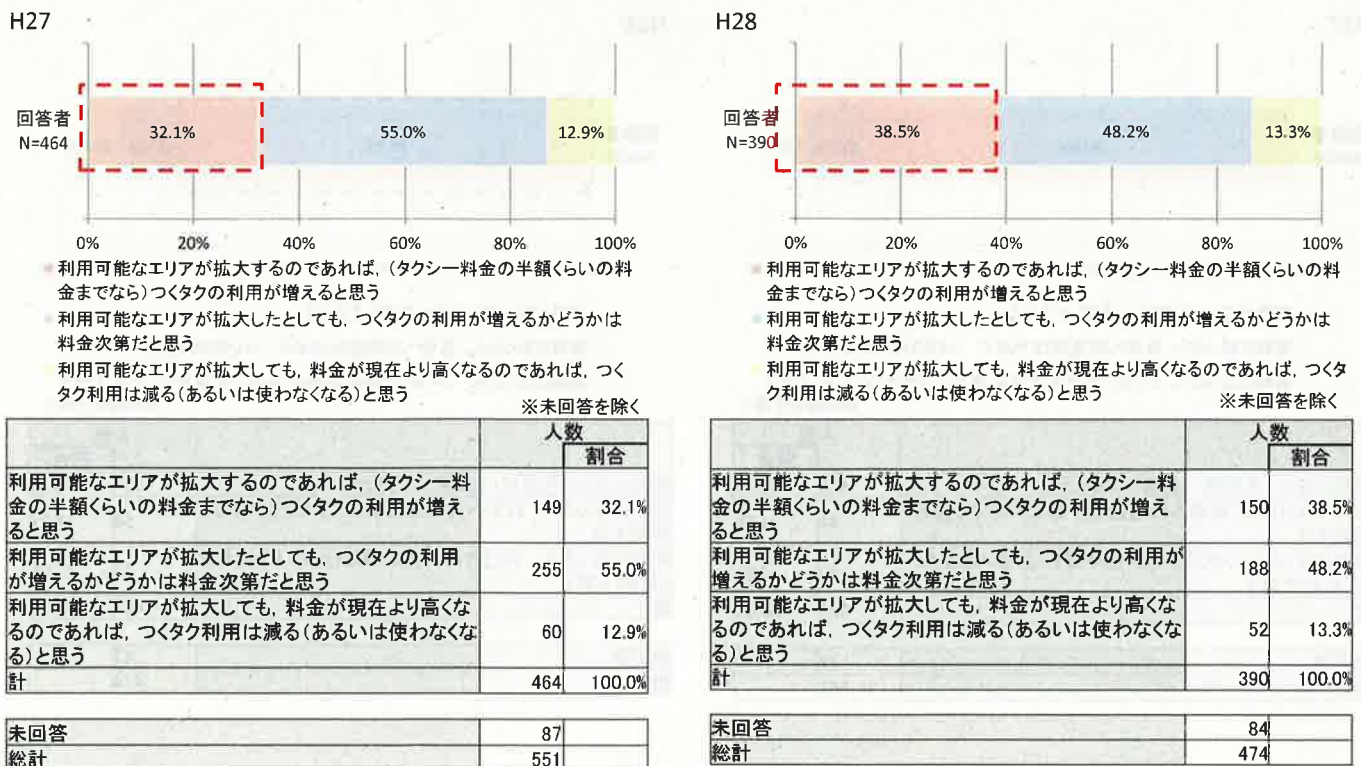


36

11. 問27 料金体系変更に対する考え

つくタクで移動できるエリアが拡大することに伴い、利用する距離帯に応じた料金体系に変更されることについて、あなたの考え方に最も近いものを選んでください。

- エリア拡大に伴って料金体系が変更されることについて、つくタクの利用が増えると回答した人の割合が増加している。

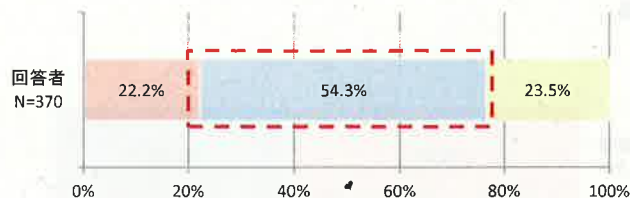


37

12. 問28 運行形態の変更に対する考え(H28新規追加項目)

地域内の利用頻度の高い施設を巡回するつくタク（循環型）の導入と、運行エリアが現在の運行エリア内のみとなることについて、あなたの考え方に最も近いものを選んでください。

- 運行形態の変更について、回答者の半分以上が立ち寄る施設や時間次第だと回答している。



エリア内の移動が便利になり、つくタクの利用が増えると思う

利用が増えるかどうかは、つくタク(循環型)が立ち寄る施設や時間次第だと思う

エリア内の移動が便利になっても、共通ポイントなどエリア外への移動に乗り換えが必要になるのであれば、つくタクの利用は減る(あるいは使わなくなる)と思う

※未回答を除く

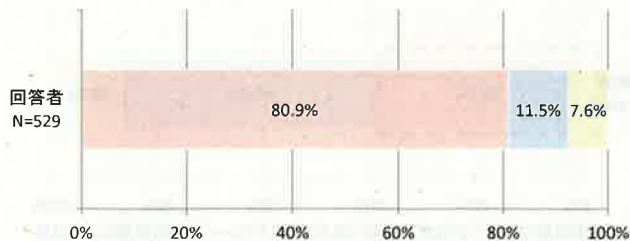
	人数	
	人数	割合
エリア内の移動が便利になり、つくタクの利用が増えると思う	82	22.2%
利用が増えるかどうかは、つくタク(循環型)が立ち寄る施設や時間次第だと思う	201	54.3%
エリア内の移動が便利になっても、共通ポイントなどエリア外への移動に乗り換えが必要になるのであれば、つくタクの利用は減る(あるいは使わなくなる)と思う	87	23.5%
計	370	100.0%
未回答	104	
総計	474	

13. 問29① 自宅登録利用料の変更に対する考え

つくタクの見直しに伴い、自宅への送迎が、現在の無料から1回の利用ごとに有料になることについて、あなたの考え方に最も近いものを選んでください。

- 自宅登録利用料の変更について、有料になっても自宅送迎を希望する割合が減少している。

H27



有料になっても自宅へ送迎してもらおう

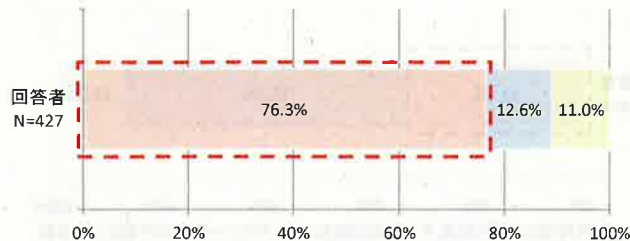
有料になったら、自宅への送迎はやめて、つくタク停を利用する

有料になったら、つくタクの利用は減る(あるいは使わなくなる)と思う

※未回答を除く

	人数	
	人数	割合
有料になっても自宅へ送迎してもらおう	428	80.9%
有料になったら、自宅への送迎はやめて、つくタク停を利用する	61	11.5%
有料になったら、つくタクの利用は減る(あるいは使わなくなる)と思う	40	7.6%
計	529	100.0%
未回答	22	
総計	551	

H28



有料になっても自宅へ送迎してもらおう

有料になったら、自宅への送迎はやめて、つくタク停を利用する

有料になったら、つくタクの利用は減る(あるいは使わなくなる)と思う

※未回答を除く

	人数	
	人数	割合
有料になっても自宅へ送迎してもらおう	326	76.3%
有料になったら、自宅への送迎はやめて、つくタク停を利用する	54	12.6%
有料になったら、つくタクの利用は減る(あるいは使わなくなる)と思う	47	11.0%
計	427	100.0%
未回答	47	
総計	474	

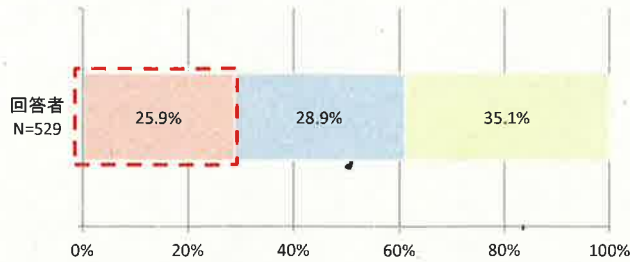
つくバス・路線バス利用者調査 アンケート結果

14. 問29② 自宅登録利用料の変更に対する許容金額

自宅登録利用料（自宅への送迎）が1回いくらまでなら、このサービスを利用したいと思いますか。

- 自宅登録利用料の有料化について、300円まで支払っても良いと回答している割合が増加している。

H27



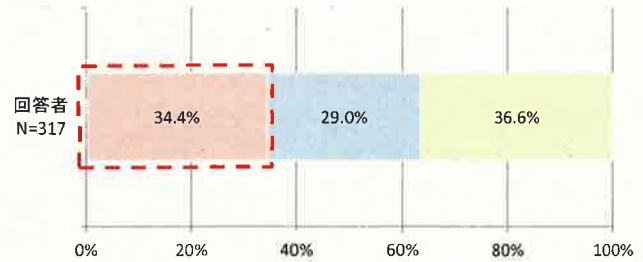
- 1回300円までなら利用する
- 1回200円までなら利用する
- 1回100円までなら利用する

※未回答除く

	人数	割合
1回300円までなら利用する	120	25.9%
1回200円までなら利用する	134	28.9%
1回100円までなら利用する	163	35.1%
計	417	89.9%

未回答	11
総計	428

H28



- 1回300円までなら利用する
- 1回200円までなら利用する
- 1回100円までなら利用する

※未回答を除く

	人数	割合
1回300円までなら利用する	109	34.4%
1回200円までなら利用する	92	29.0%
1回100円までなら利用する	116	36.6%
計	317	100.0%

未回答	9
総計	326

40

つくバス・路線バス利用者調査 アンケート結果

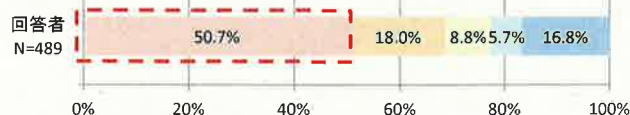
15. 問32 つくタクの値上げに対する考え

「つくタク」はご利用された方からの運賃収入以外に、市の負担によって運行が維持されています。

今後も「つくタク」の運行を継続するために運賃を値上げすること考えられます。このような運賃値上げについて、あなたのお考えをお聞かせください。

- つくタクの値上げについて、運賃の値上げを仕方ないと回答した割合が減少している。

H27



- 運賃の値上げは仕方ない

- 市からの負担を増やした中で運行すべき

- 現在の運賃を維持し、かつ市の負担を増やさないためには、運行のサービスを変更してもかまわない

- その他

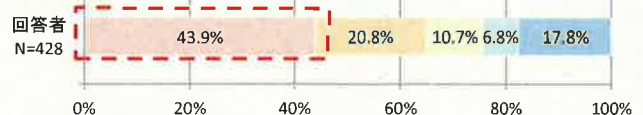
- わからない・判断できない

※未回答を除く

	人数	割合
運賃の値上げは仕方ない	248	50.7%
市からの負担を増やした中で運行すべき	88	18.0%
現在の運賃を維持し、かつ市の負担を増やさないためには、運行のサービスを変更してもかまわない	43	8.8%
その他	28	5.7%
わからない・判断できない	82	16.8%
計	489	100.0%

未回答	62
総計	551

H28



- 運賃の値上げは仕方ない

- 市からの負担を増やした中で運行すべき

- 現在の運賃を維持し、かつ市の負担を増やさないためには、運行のサービスを変更してもかまわない

- その他

- わからない・判断できない

※未回答を除く

	人数	割合
運賃の値上げは仕方ない	188	43.9%
市からの負担を増やした中で運行すべき	89	20.8%
現在の運賃を維持し、かつ市の負担を増やさないためには、運行のサービスを変更してもかまわない	46	10.7%
その他	29	6.8%
わからない・判断できない	76	17.8%
計	428	100.0%

未回答	46
総計	474

41

**つくば市地域公共交通網形成計画
事業進捗状況評価結果
(速報版)**

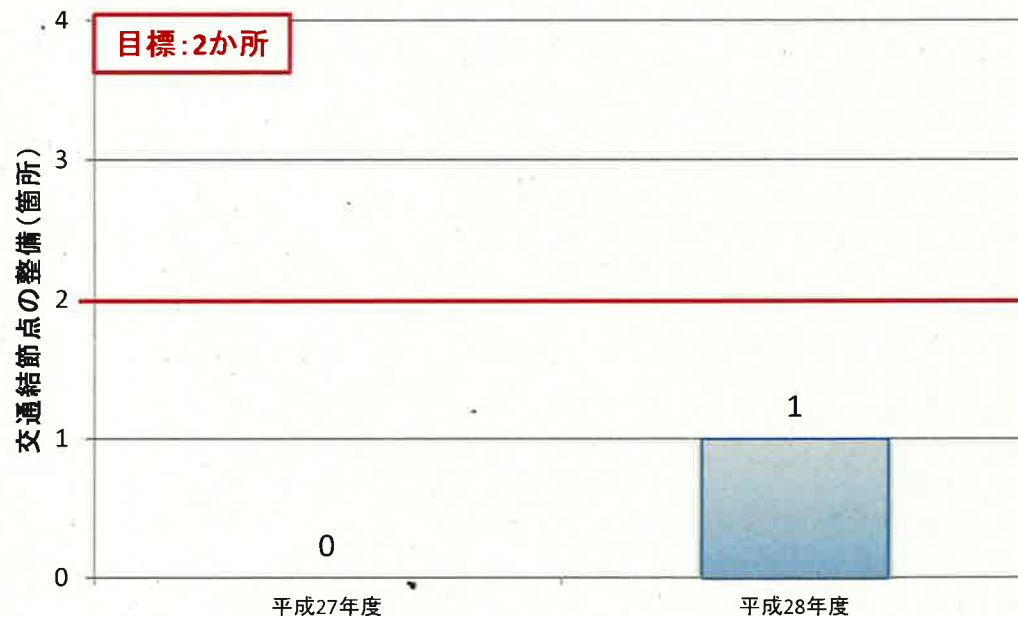
平成29年2月14日

つくば市 企画部 総合交通政策課

目標1:今後のまちづくりと連携した地域公共交通網の構築

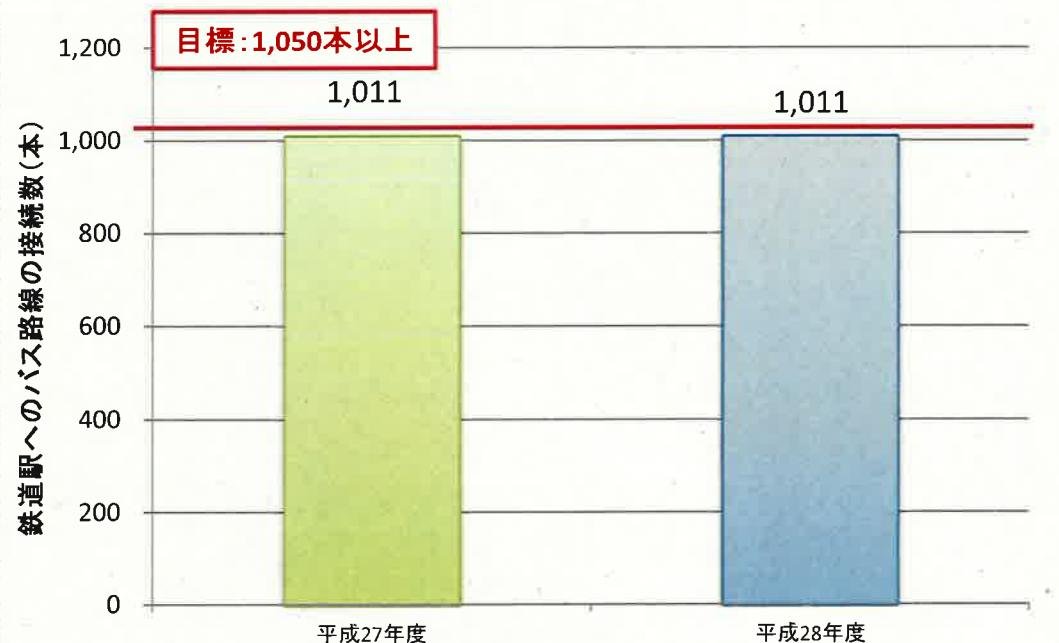
●指標1-1 交通結節点の整備（新設）

- 乗継拠点となる「交通結節点」は、北部と南部に整備を計画しており、**H30以降の整備を予定**している。
- なお、広域連携バスの運行開始に伴い、つくば市最北部の乗継拠点となる「筑波山口」の整備が関東鉄道によって実施された。



●指標1-2 鉄道駅へのバス路線の接続数

- TX4駅へのバス路線の接続数は、H27から変化はない。
- 今後も利便性向上のため、接続本数の増加を進めていく。



(データ取得方法)各バス路線の時刻表

●各会社の運行本数

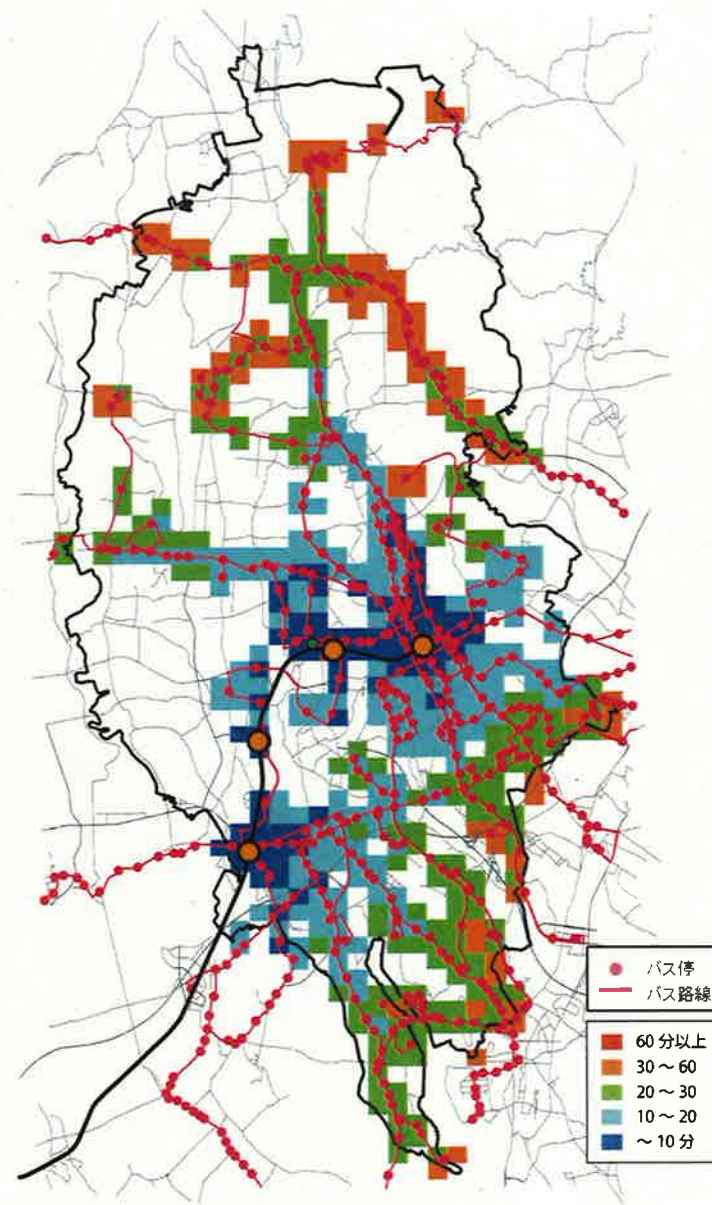
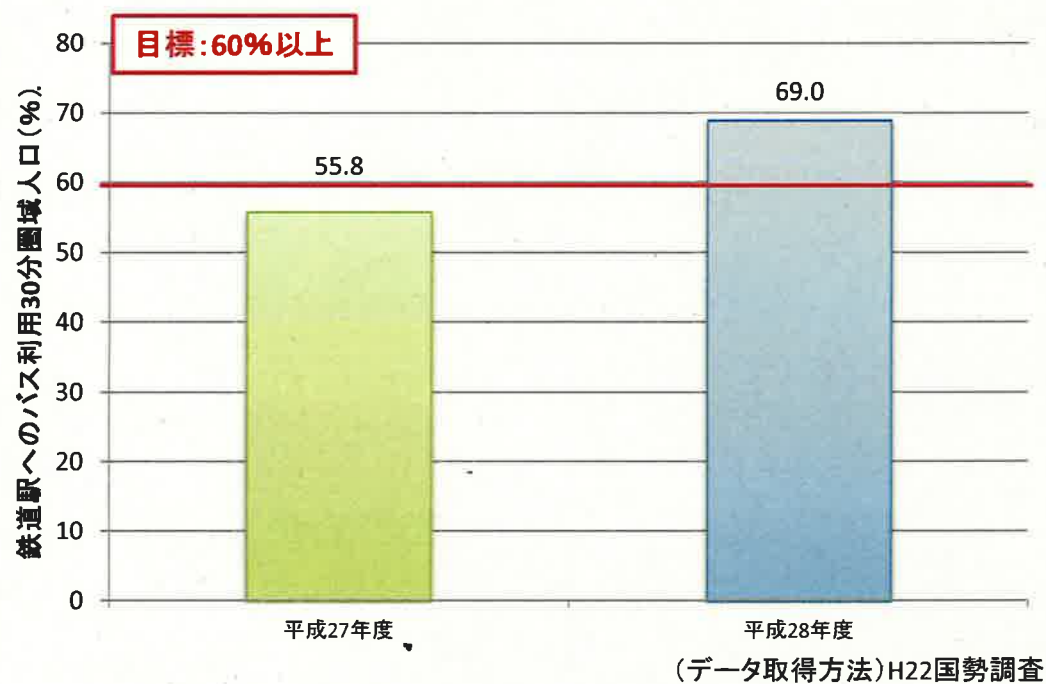
会社	H27	H28
つくバス	334	334
関鉄バス	604	604
関鉄パープル	43	43
JRバス関東	30	30
合計	1,011	1,011

※鉄道駅:つくば市内のTX4駅(つくば駅, 研究学園駅, 万博記念公園駅, みどりの駅)

目標1: 今後のまちづくりと連携した地域公共交通網の構築

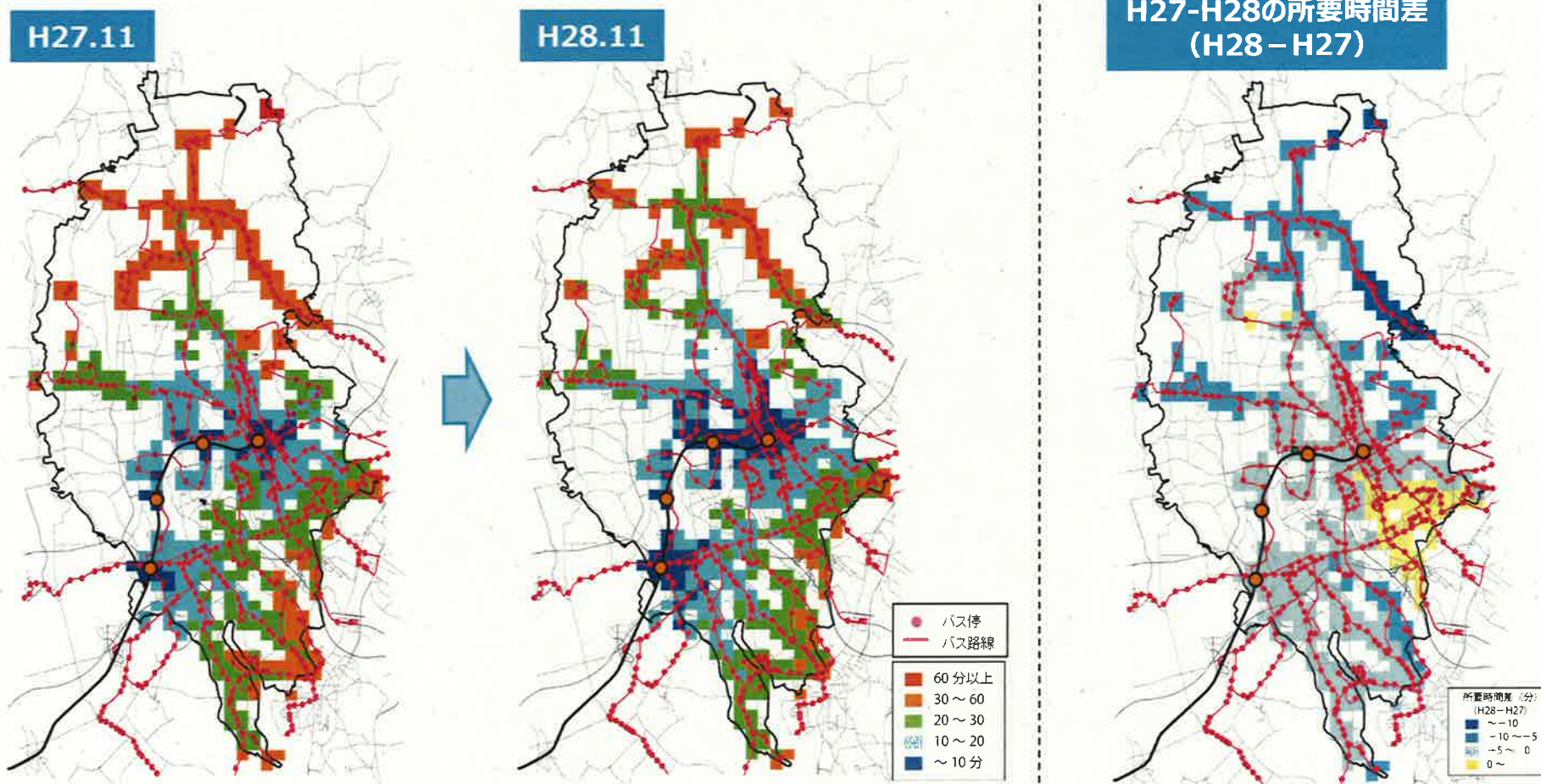
●指標1-3 鉄道駅へのバス利用30分圏域人口

- 鉄道駅へのバス利用30分圏域人口は、目標値を超えている。



(参考)指標1-3 鉄道駅へのバス利用30分圏域人口

- 鉄道駅へのバス利用間30分圏域人口が、H27からH28にかけて大きく改善した。
- 路線やダイヤの大きな変更は行っていないことから、所要時間を算定する際の**データを変更した影響**と考えられる。
 - ⇒H28は、H28.10から導入された**バスロケーションシステム**で取得されているバス走行履歴データ（1秒ごとに位置情報（緯度経度情報）を取得）から、所要時間を算定
 - ⇒データ精度が向上し、日々の運行状況をバスロケーションシステムから把握できるため、運行状況のモニタリングにも活用していく。

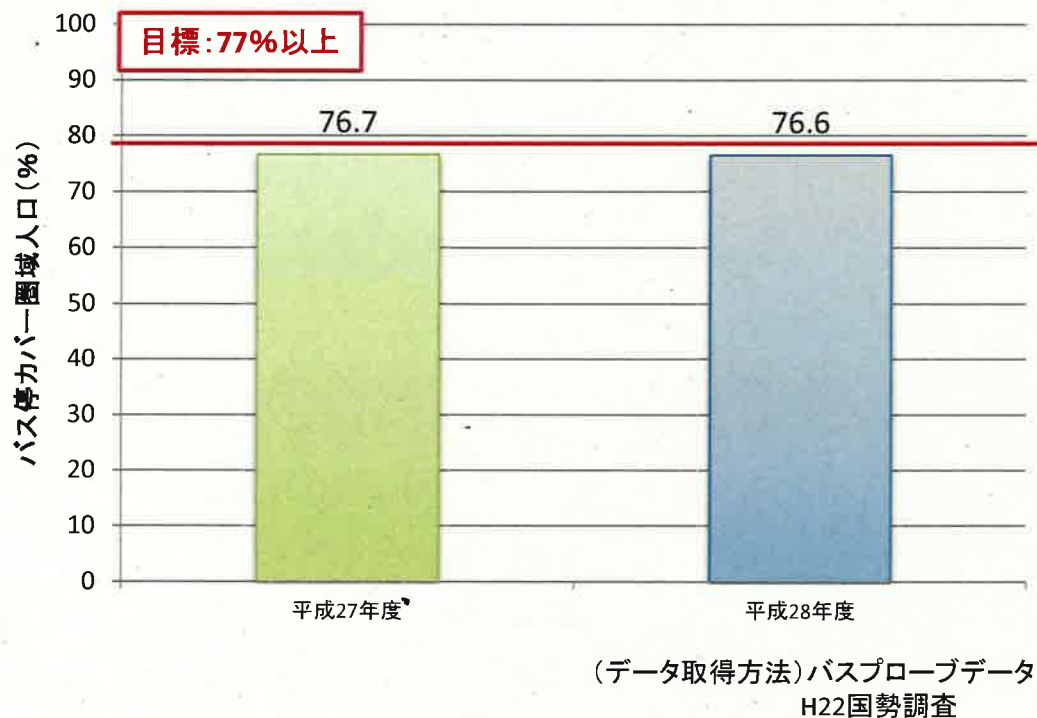


※平日昼間12時間の平均旅行速度から算出

目標2:地域のニーズを踏まえた持続可能な公共交通サービスの充実

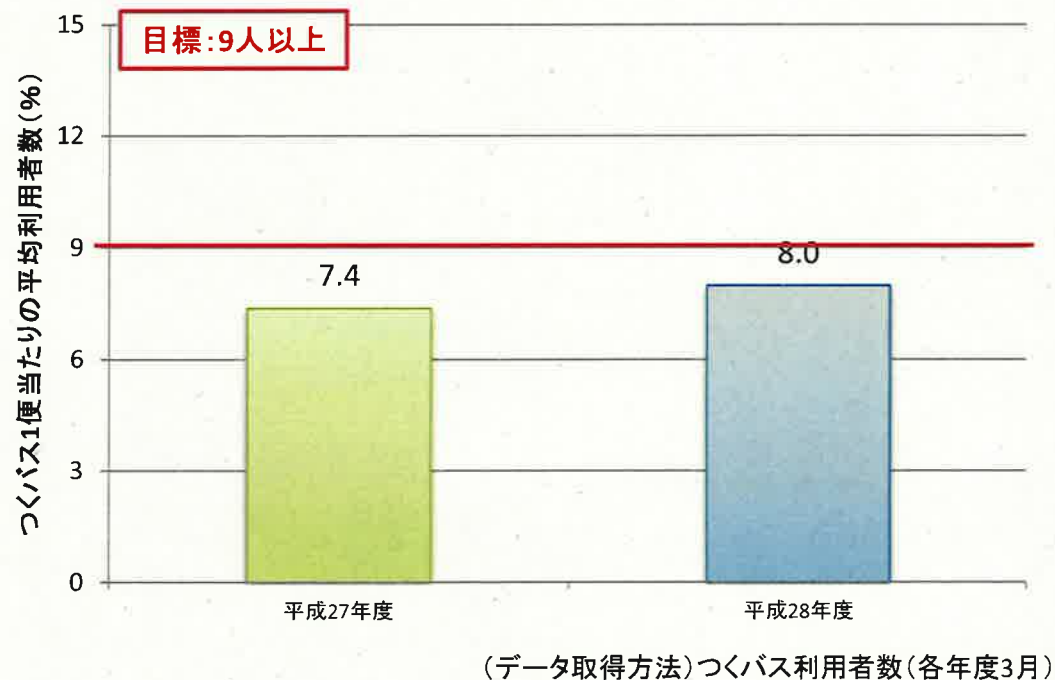
●指標2-1 バス停カバー圏域人口

- バス停カバー人口は、H27から若干減少した。
- 開発状況を踏まえ、作岡シャトルの篠崎バス停の移設、長高野バス停の新設を行っており、今後も沿線の開発状況などのまちづくりの方針と合わせたバス停位置の検討を行っていく。



●指標2-2 つくバス1便当たりの平均利用者数

- つくバスの利用者数の増加に伴い、1便当たりの利用者数も増加している。
- 今後も利便性向上などによる、更なる利用者の増加を目指していく。

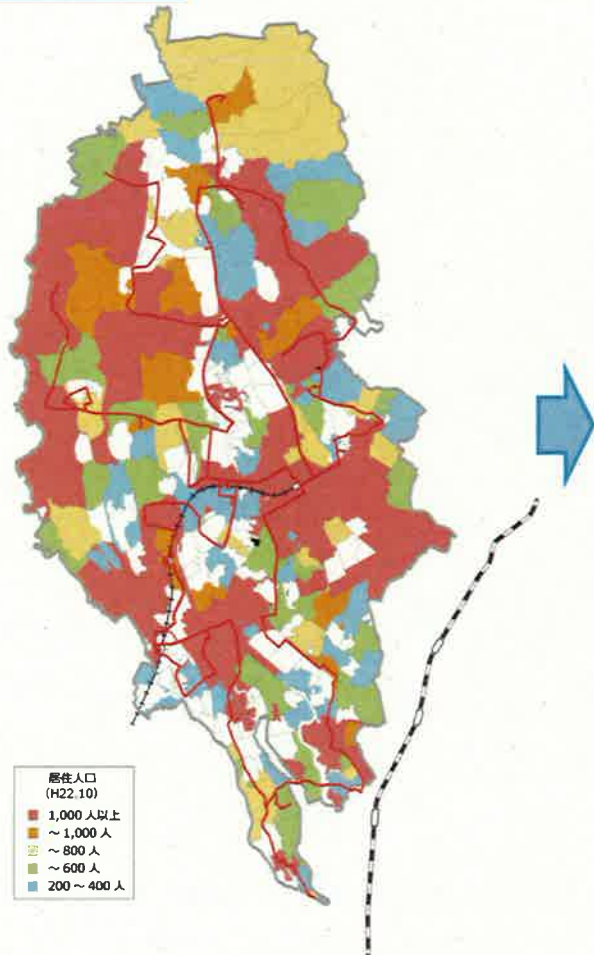


(参考)指標2-1 バス停カバー圏域人口

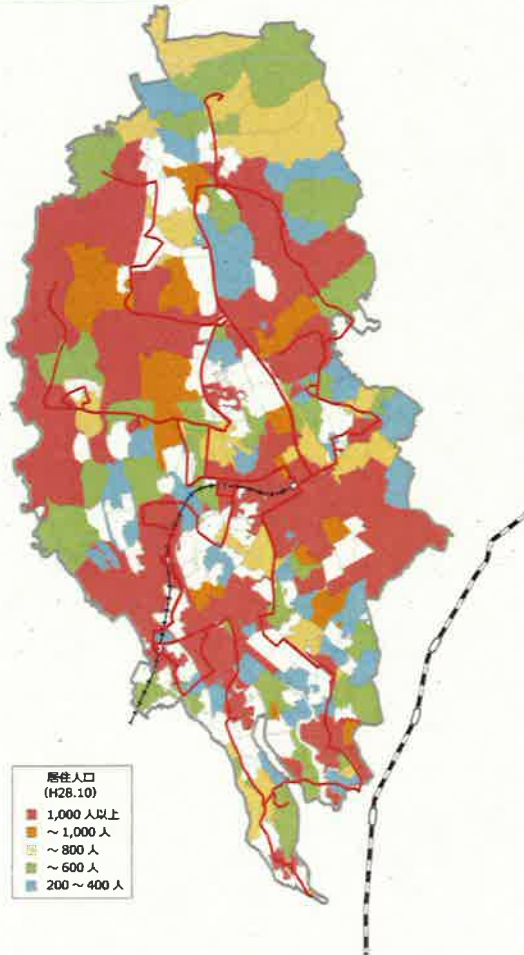
- バス停カバー人口を算定する際の人口は、**平成22年国勢調査のメッシュ別人口データ**を活用している
- 一方で、つくば市は、日々人口分布が変化しており、開発状況を踏まえて柔軟にバス停や路線を再編してきている
⇒ 今後は、月々の状況を把握可能な**行政区別人口データ***などの活用可能性も検討していく。

*行政区別人口データ：住民基本台帳に基づき、行政区ごとに人口集計を行っているもの。つくば市では、住民基本台帳（住民票）のデータから毎月1日0時00分現在の住民基本台帳人口を抽出し、集計を行っている

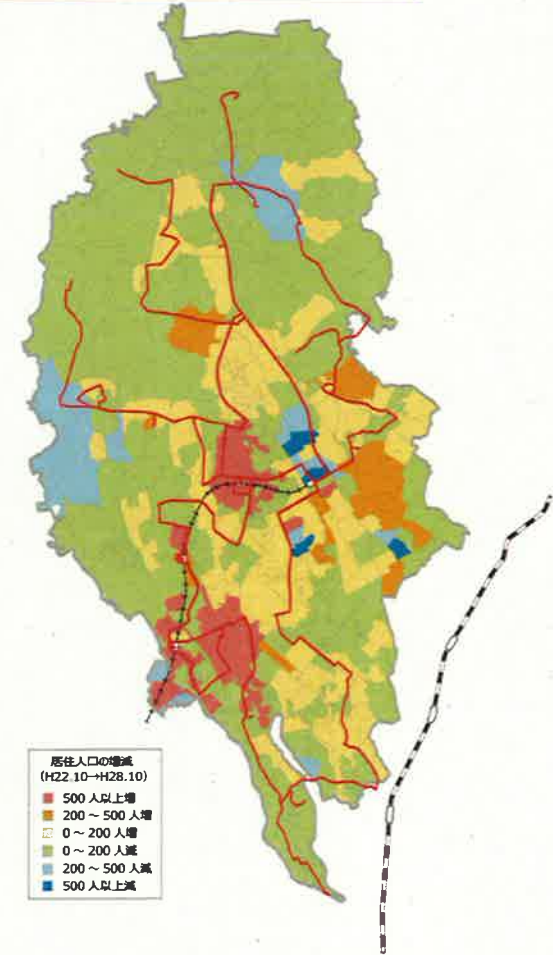
H22.10



H28.10



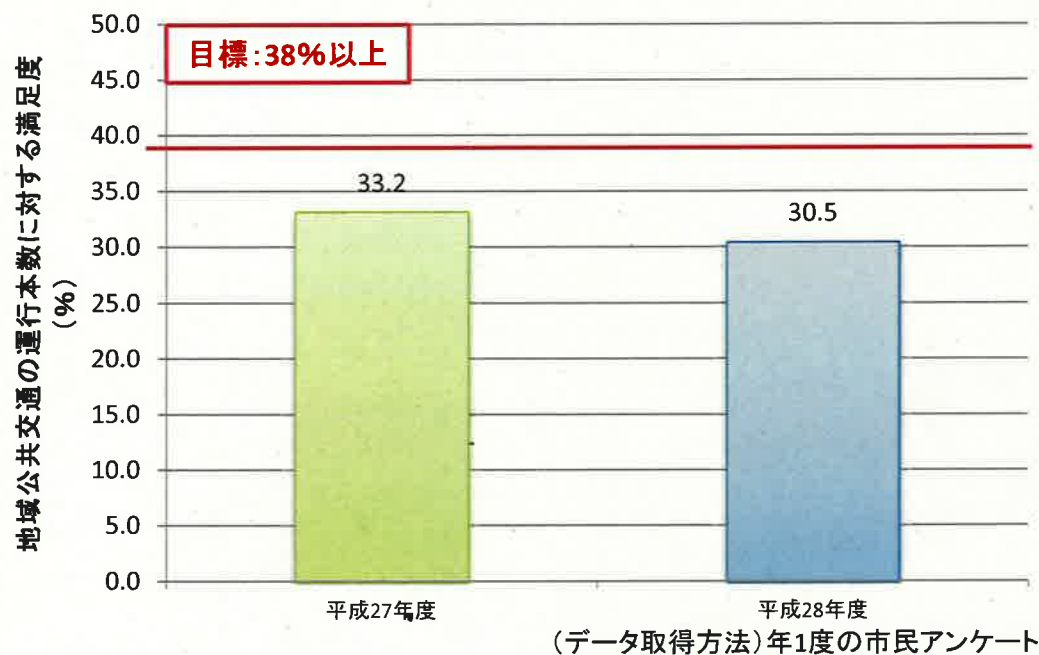
増減 (H22.10→H28.10)



目標2:地域のニーズを踏まえた持続可能な公共交通サービスの充実

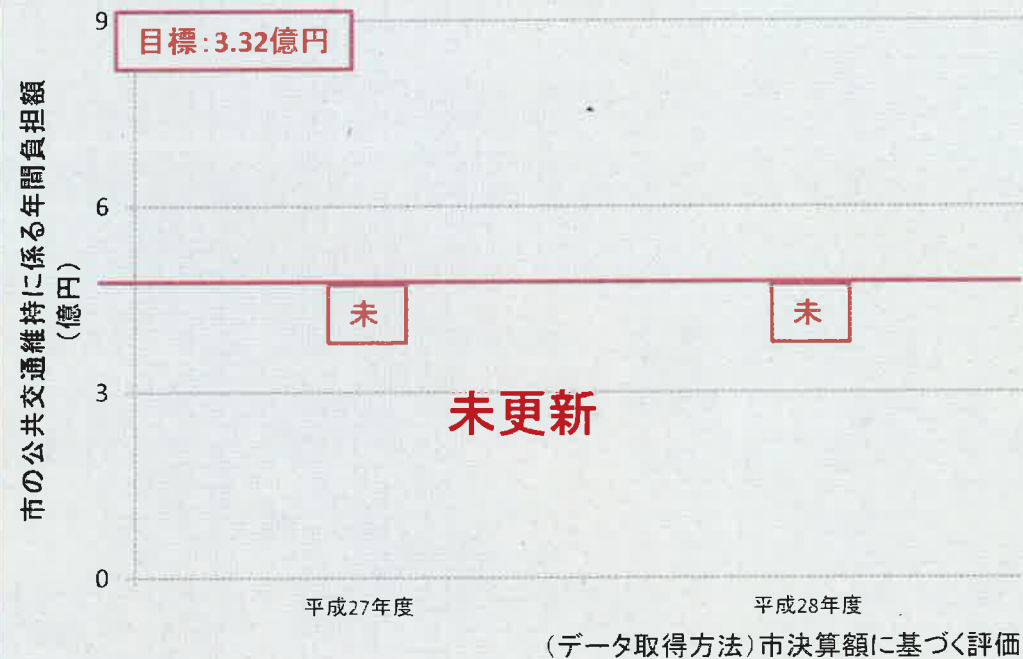
●指標2-3 地域公共交通の運行本数に対する満足度

- 公共交通の運行本数に対する満足度は、H27から3ポイント程度減少している。
- 市民ニーズを細やかに把握し、利用促進につながる検討を行うことが必要である。



※連携計画の指標3-1-1と同一

●指標2-4 市の公共交通維持に係る年間負担額

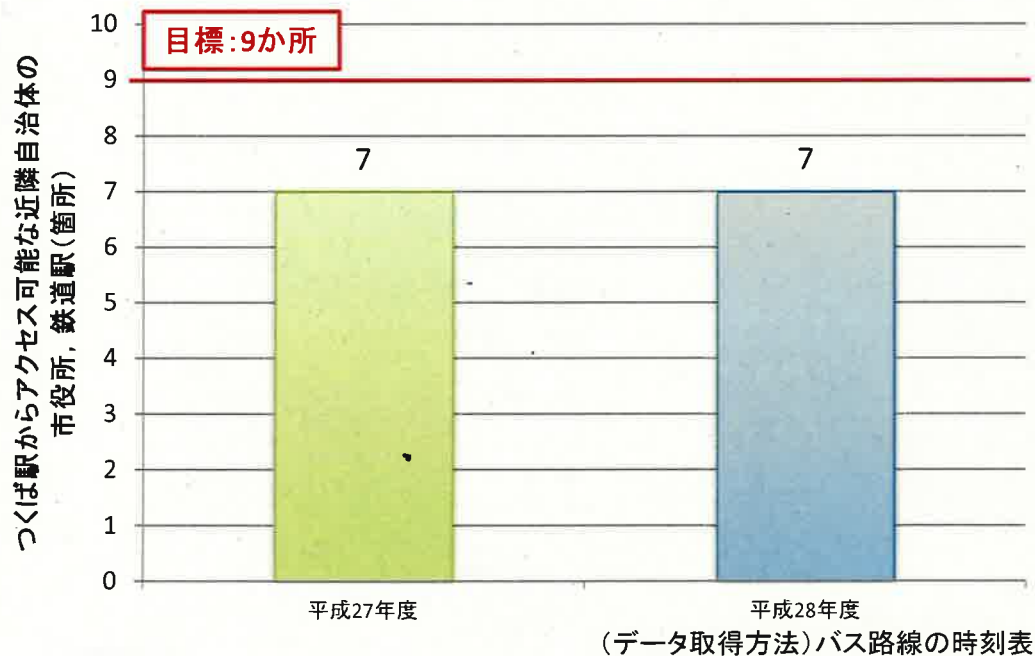


※連携計画の指標2-1-1と同一

目標3:つくば市周辺地域との交流を促進 する公共交通サービスの拡充

●指標3-1 つくば駅からアクセス可能な近隣自治体の 市役所, 鉄道数

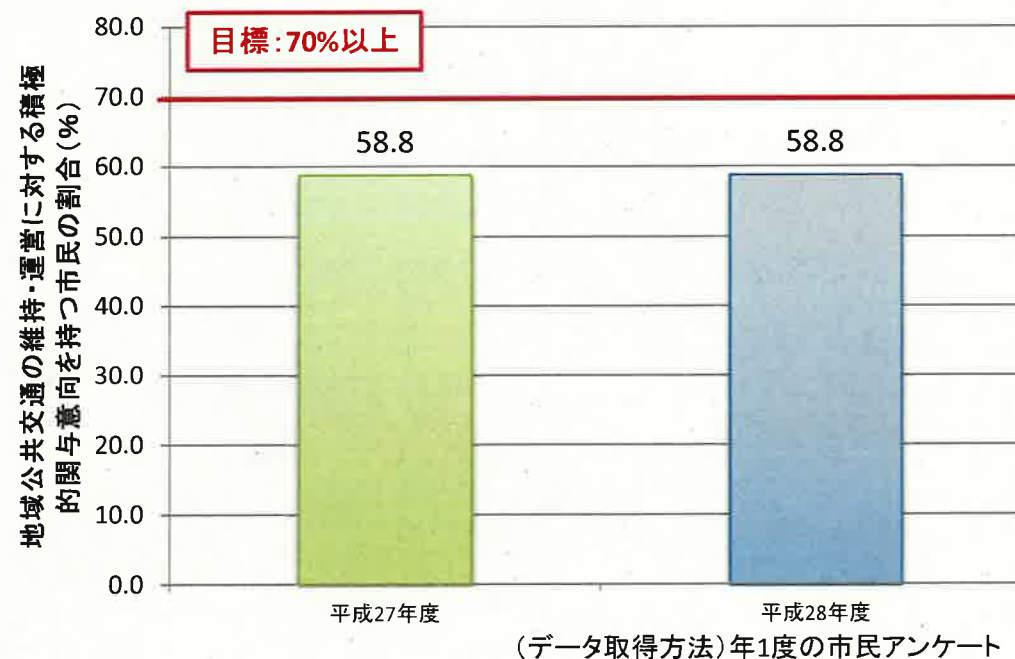
- つくば駅からアクセス可能な近隣自治体の市役所数は, 9箇所になる。
- 筑西市・桜川市広域連携バスの運行開始により, 筑西市役所, 桜川市役所へのアクセスが可能となった。
- 周辺市町村との広域連携バスの運行等を通じて, 増加を目指す。



目標4:地域公共交通への市民の理解や 関心を高める取り組みの推進

●指標3-1 地域公共交通の維持・運営に対する積極的関 与意向を持つ市民の割合

- 地域公共交通の維持・運営に対して積極的関与意向を持つ市民の割合は, 横ばいとなっており, 平成28年度においても前年度並みとなっている。



※連携計画の指標2-2-1と同一

平成29年度つくバス・つくタクの運行計画について（案）

1 平成29年度つくば市コミュニティバス「つくバス」運行事業

(1) 目的

市民を取り巻く公共交通環境づくりの一環として、路線バスを補完するコミュニティバス（つくバス）を運行し、市民の移動の利便性の向上に資するため、交通ネットワークの形成を図る。

(2) 運行期間 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(3) 受託者（運行事業者） 関東鉄道株式会社

(4) 運行路線及び運行日について

①運行路線

北部シャトル、小田シャトル、吉沼シャトル、作岡シャトル、南部シャトル、谷田部シャトル、自由ヶ丘シャトル

②便数

1日当たり334便

③運行日及び運行時間

・運行日は365日年中無休

・運行時間は概ね6:00～23:00までとする。

(5) 車両

車両は22台で運行する。

(6) 利用促進の取組

①平成29年度版つくバスガイドの配布

②バスロケーションシステムの運用

③交通系ICカードの運用

④6か月定期、バス得割引等の新規割引制度の検討

(7) その他の検討事項

①利用者の多い路線については、安全性及び快適性向上のために、混雑解消について検討する。

②利用者の少ない路線については、利用者拡大について検討する。

③公共交通の利用促進及びつくバス全体の利便性の向上を図るため、路線の利用状況等を検証し、「幹線、支線」におけるサービス内容の検討を進める。

(8) 運行事業費（見込み）

歳出 455,516千円

歳入 運賃収入 187,232千円

市負担額 268,284千円

2 平成29年度つくば市デマンド型交通「つくタク」運行事業

(1) 目的

市民を取り巻く公共交通環境づくりの一環として、路線バス及びコミュニティバスを補完するデマンド型交通（つくタク）を運行し、市民の移動の利便性の向上に資するため、交通ネットワークの形成を図る。

(2) 運行期間 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(3) 受託者 株式会社セキショウキャリアプラス

(4) 運行区域及び運行日について

①運行区域

●基本運行区域

市内旧町村を基本とする5エリア（筑波地区、大穂・豊里地区、桜地区、谷田部地区、荃崎地区）

●特例ポイント

各地区から運行することができる地区外の乗降場所、地区内と同一料金で利用できる。

●共通ポイント

全エリアから運行することができる乗降場所（7か所）、料金は地区により異なる。

②運行日及び運行時間

●運行日 月曜日から金曜日まで（国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から同月31日、1月2日及び同月3日を除く。）

●運行時間 午前9時台から午後4時台まで

(5) 運行台数

予約お断りの解消を図るため、平成29年4月に車両を1台増台し、20台体制にして運行する。

その後、予約解消の状況等を注視しながら、状況の改善が図られない場合は、平成29年10月にさらに1台増台し、21台体制で運行することを検討する。

(6) つくタク予約時間の変更

つくタク予約センターに電話がつながりにくい時間帯があるため、電話の内容に応じて、電話をかける時間を定める。内容によって架電時間を分散することにより、入電量全体の調整が図られ、応答率の向上につながると想定される。

時間帯	入電内容
8:30～17:00	当日の予約
8:30～17:00	キャンセル
12:00～17:00	当日以外の予約

(7) 予約センターの体制強化

予約センター電話応答率を高めるため、オペレーターの配置体制を充実させる。

時間帯	管理者	オペレーター	合計
【上期】4月～9月	1名	6名	7名
【下期】10月～3月	1名	8名	9名

(9) 利用者への接遇の向上

利用者の8割が高齢者、1割が障害者である現状を踏まえ、利用者の皆様が快適かつ安全に乗降ができるよう、困っている利用者にはお声掛けをし、乗降のサポートを実施する。

(8) 安全管理の充実

①つくタク車両にドライブレコーダーを搭載する。

運行上の安全管理及び利用者とのトラブル防止のため、つくタク全車両にドライブレコーダーを搭載する。

②ドライバー研修の充実

ドライバーの適正診断の実施、優良ドライバーに対する表彰制度の導入を実施する。

(10) 利用促進関連取組

①平成29年度版つくタクガイドの配布

②つくタク利用券の販売店舗の充実

③つくタク自宅利用登録申請書の配布場所の充実及び登録事務の受付店舗を拡充

④つくタクWEBの運用

⑤利用券販売店、病院、市内公共施設等につくタクカード（名刺サイズ）を設置・配布

(11) 運行事業費（見込み）

歳出 150,831 千円

歳入 運賃収入 10,044 千円

市負担額 140,787 千円

※平成29年4月契約：134,590,000 円

平成29年10月変更（予定）：6,197,000 円

つくバス北部シャトル運行ルート変更について

1 趣旨

現在、つくバス北部シャトルは、秀峰筑波義務教育学校の建設工事の完了までの間、国道 125 号線を通過するルートで運行している。

現在のルートは、平成 29 年 3 月末までを予定していたが、秀峰筑波義務教育学校の建設工事の遅延に伴い、以前のルート（君島経由のルート）に戻すことができない状況である。そのため、このルートによる運行を継続するものとする。

なお、平成 30 年 4 月 1 日以降の運行ルートについては、以前のルートと現在のルートの所要時分の違いや秀峰筑波義務教育学校周辺の交通量の推移、既存バス路線との競合などについて比較検証し、その結果を踏まえて、検討をする。

2 ルート変更期間

平成 30 年 3 月 31 日までとする。